

千葉県による公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	財団法人印旛沼環境基金	県所管課	環境生活部水質保全課
代表者	理事長 渡貫博孝	電話	043-223-3818
所在地	佐倉市宮小路町12番地		
電話	043-485-0397		
設立年月日	昭和59年11月20日		
ホームページアドレス	http://homepage2.nifty.com/inbanuma/		
事業内容	印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼周辺の環境保全に資することを目的とし、主に次の事業を行う。 1)印旛沼及び流域河川の調査研究 2)水質保全を目的としたボランティア活動等への援助 3)水質保全のための各種啓発活動		

1 出資等の状況(H18.4.1現在)

(単位:千円位)

資本金(又は出捐金)	564,526
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	275,000	48.7%	1	
船橋市	52,414	9.3%	2	
千葉市	40,280	7.1%	3	
佐倉市	38,050	6.8%	4	
印旛郡市広域市町村圏事務組合	36,000	6.4%	5	
八千代市	35,140	6.2%	6	
八街市	16,340	2.9%	7	
四街道市	13,600	2.4%	8	
白井市	8,530	1.5%	9	
印旛村	7,800	1.4%	10	
富里市ほか14者	41,372	7.3%	11	

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H18.4.1現在)

社員総数	
------	--

区分		社員数	主な者
内訳	地方公共団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況 ※

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	15年度	16年度	17年度
総資産	566,895	567,505	569,008
負債	0	0	0
資本	566,895	567,505	569,008
累積損益	2,369	2,979	4,481

(2)損益計算書

(単位:千円)

項 目	15年度	16年度	17年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	4,331	6,645	5,392
経常損益	538	610	1,503
当期損益	538	610	1,503
減価償却前当期損益	538	610	1,503

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	15年度	16年度	17年度
借入金残高	0	0	0
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※公益法人については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 資本⇒正味財産の部合計

累積損益⇒基本金等を除く正味財産額

〈損益計算書〉 損益計算書⇒収支計算書及び正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝当期収入合計－借入金収入等(損益に無関係の項目))

経常損益⇒当期正味財産増減額－(特別損益項目の資産の増減＋特別損益取引に係る当期収支差額)

当期損益⇒当期正味財産増減額

減価償却前当期損益⇒当期正味財産増減額(減価償却を行っている場合は、減価償却費を加える)

5 県の財政支出の状況

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	15年度	16年度	17年度
委託料		0	0	0
補助金・交付金・負担金		0	0	0
その他 (利子補給・税の減免額・出資金・貸付金・その他)		0	0	0
合計		0	0	0

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	15年度	16年度	17年度
常勤役員数	0	0	0
うち県退職者			
うち県派遣職員			
常勤職員数	0	0	0
うち県退職者			
うち県派遣職員			

7 事務事業の見直しの状況

印旛沼白書等の刊行物の有料化をおこない、イベント時に販売している。自然観察会の参加者からの参加費を徴収している。屋形船による印旛沼の観察会に際し、参加費(保険料)を徴収している。

(参考) 公社等外郭団体の見直し概要(千葉県行政改革推進本部決定)

改革方針	経営改善
改革の期間	H15～H17
改革の概要	(見直し) 各事業の実施にあたり、財源の確保に努めるとともに、一層の効率的かつ効果的な取り組みを推進する。 具体的には、事業の有料化(例:出版物の有償頒布)、民間団体等からの寄付やイベント等での賛助金の募集について検討する。
改革の効果	出版物の有償頒布による団体の収入増が見込まれる。
改革に伴う課題	
その他	